

4. 注意 (II)

(投与に際して)

- (1) スーパービーIIは、気温5～40℃の間で、強い活性を発現します。一方、直射日光の高温下では、菌が弱り、希釈水中では雑菌の増加することがあります。噴霧の場合、希釈した善玉菌は冷涼な場所に置き、短期間にご使用ください。なお、巣箱内は40℃を越えることはなく（夏季日中平均温度35℃、日蜂協資料）、スーパービーIIが弱ることはありません。
- (2) また、噴霧液を調整する際に、スーパービーIIを砂糖などの栄養物と共に希釈しないでください。砂糖などが濃縮し、（巣箱中の）雑菌の増加や汚れの原因となります。

4. 注意 (II) 続き

- (3) スーパービーIIを糖蜜液、代用花粉などに混合し、飼料として給餌する場合、長期間巣箱に放置すると、劣化して善玉菌の活力の低下する場合があります。長期間巣箱内に設置するよりは、限定した期間に、集中的に給餌するようにして下さい。
（小皿を用意し）1箱につき100mLほどの糖蜜・スーパービーIIの混合体を小皿に給与、3～4日で消費するような方法をお勧めします。
- (4) 空の巣箱を、希薄塩素液等で消毒・乾燥した後にスーパービーIIを噴霧すると、効果がより向上します。ただし、消毒液などの残留にはご注意ください。なお、希薄塩素液は約2日で蒸発します。